

えたいというのでしょうか。

しかし彼等の感覚は、受けた傷が癒えた動物が痛みを忘れているのと同じ動物的感覚の低さに落ち込んでいます。それ以上に、彼等は父や母の受けた戦争体験の痛みさえ感じていないのですから動物的感覚以下のレベル水準というべきでしょう。「日本国憲法は、おしつけられたものだから廃棄しよう」というのは誠に猥雑きわまる態度です。むしろ日本国憲法の平和理念を守り、核兵器廃絶を実現することこそ国際政治の中心課題であると信じます。正しい戦争などは存在しません。

最後に申しますが、破壊力のかって無く大きな兵器を使用して、世界の大国が、憎しみの戦争を戦わせるならば、人類の滅亡は非常に早いことでしょう。

2001年10月30日 村田豊治 (85歳)

## 記念誌を発行

『竜爪山九条の会 記念誌』表紙



竜爪山九条の会では、新型コロナウイルスの感染拡大という事態を受けて、感染のキケンを避けるため、昨年、今年と、2年にわたって“つどいの総会・講演会”を中止いたしました。そのため、活動の一環として、全ての記念講演の要約を掲載した記念誌を発行することにし、2021年5月5日に出版しました。

竜爪山九条の会の発会は2007年。歴史学者で地元出身の小和田哲男先生に講演していただいたのを出発に、以来、毎年、総会にあわせて講演会をおこない、地元静岡在住の方をはじめ、全国的にも有名な、歌う僧侶の鈴木君代さん、小森陽一さんや望月衣塑子さんも招いています。総勢13名。

2018年提出以来、継続審議になっていた「国民投票法改正案」が国会を通過し、今、改憲は現実味を帯び、九条の会の役割が増しています。まだ少し在庫がありますので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。



酷暑とコロナ禍の中、いかがおすごしでしょうか。一年四カ月ぶりに会報をお届けします。毎年恒例の憲法記念日に合わせた意見広告にも、多くの賛同をいただき、感謝申し上げます。また、発会以来の記念講演の要約集、お読みいただいております。感想等、事務局までお寄せください。(寺井)

編集後記